

## メッセージ

「平和祈念自転車競走」が、フランス自転車競技連盟の後援のもと、サタ・ファウンデーションを始め、世界的な大選手であるベルナル・イノー氏など多くの関係者の御尽力により、今年も盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ヒロシマは、人類最初の被爆体験を原点に核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。しかし、核即応態勢はそのままに膨大な量の核兵器が備蓄・配備され、核拡散も加速するなど人類は今なお滅亡の危機に瀕しています。

このため、広島市は、世界の2,200を超える都市が加盟する平和市長会議と共に、2020年までに核兵器廃絶を目指す「2020 ビジョン」に取り組んでおり、核保有国に対し、核軍縮に向けた「誠実な交渉義務」を果たすよう求めるキャンペーンや都市を核攻撃の目標にしないよう求めるプロジェクトなど様々な活動を展開しています。

また、被爆の記憶が世界的に薄れつつある中、全米101都市での被爆の実相を伝える原爆展の開催や国内外の大学への「広島・長崎講座」の普及など、広島・長崎の被爆体験を世界と共有するための努力を続けています。

広島・長崎の被爆60周年を機に始まったこのレースが、本年も世界平和を願い開催されますことは誠に意義深く、その取組に対し深く敬意を表します。今後とも、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現のため、私たちと共に力を尽くし、行動してくださることを心から期待いたします。

終わりに、「平和祈念自転車競走」の御成功と参加者の皆様の今後ますますの御健康と御多幸をお祈りいたします。

2008年8月2日

広島市長 秋葉忠利  
(市長サイン)

〒730-8586 広島市中区国泰寺町1-6-34 広島市役所

Tadatoshi Akiba, Mayor

1-6-34 Kokutaiji-machi, Naka-ku, Hiroshima 730-8586

Phone: 082-504-2106 Fax: 082-249-6460

e-mail: kokusai@city.hiroshima.jp



## CITY OF NAGASAKI

### 平和メッセージ

「平和祈念自転車競走」が開催されるにあたり、長崎市民を代表して平和のメッセージをお送りいたします。

1945年8月9日、私たちのまち長崎に一発の原子爆弾が投下されました。凄まじい熱線、爆風、そして、恐るべき放射線により、まちは一瞬にして廃墟と化し、7万4,000人の尊い生命が奪われ、7万5,000人が負傷しました。かろうじて生き残った人々も、心と身体に深い傷を負い、今日もなお、被爆の後障害に苦しみ続けています。

長崎市民は、二度と悲惨な体験を繰り返させないという強い決意のもとづき、核兵器廃絶と世界の恒久平和を訴えてきました。

被爆のマリア像をシンボルとする「平和祈念自転車競走」を通して、多くの人々が戦争の悲惨さに思いを深めてくださり、核兵器のない平和な世界の実現に向けて取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、「平和祈念自転車競走」のご成功と、ご参加の皆様の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

平成20年7月

長崎市長

田と富久